



活用の手引



本書の使い方・内容一覧

SNS東京ノート

三つの方針

1. 「授業で使える」カード教材
2. 「トラブル事例を伝える」「危険を伝える」から「考えさせる」へ
3. 「日常のモラル」から「情報の活用」まで発達段階を踏まえた構成

カード教材の使い方

- ・綴込みの教材を切り取って使います。
- ・3~5人のグループとなり、授業内容に沿って、自分が選んだカードをグループの全員に見えるように提示します。その際、掛け声を掛けるなど、一斉にカードを出すようにすると効果的です。
- ・そのカードを選んだ理由を共有します。
- ・カードは無くさないように、裏表紙に封筒を貼るなど、工夫して保管してください。

指導のポイント

実際のコミュニケーションでは、トラブルがつきものです。もし、コミュニケーションのトラブルが起きてしまったら、そのトラブルをそれ以上大きくしないためにどのように対応したらよいかを考える必要があります。

こうしたトラブルへの対応には、「一つの答え」があるわけではありません。クラスの中で、上手なネットコミュニケーションの在り方についての最適解を児童・生徒と一緒に検討してみてください。

内容一覧

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高校
テーマ	1. 生活を見直そう 2. 使いすぎ① 3. 使いすぎ② 4. 自分と相手とのちがい	1. 使いすぎ① 2. 使いすぎ② 3. 自分と相手とのちがい 4. 悪口	1. 自分と相手とのちがい 2. 使いすぎ 3. 悪口 4. 写真	1. 自分と相手とのちがい 2. 悪口 3. 写真 4. こんなつもりじゃなかったのに	1. 自分と相手とのちがい 2. 写真 3. こんなつもりじゃなかったのに 4. 教材を作ってみよう
基本構成	・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・データを読み取ろう ・身近な人に教えよう ・保護者のみなさまへ

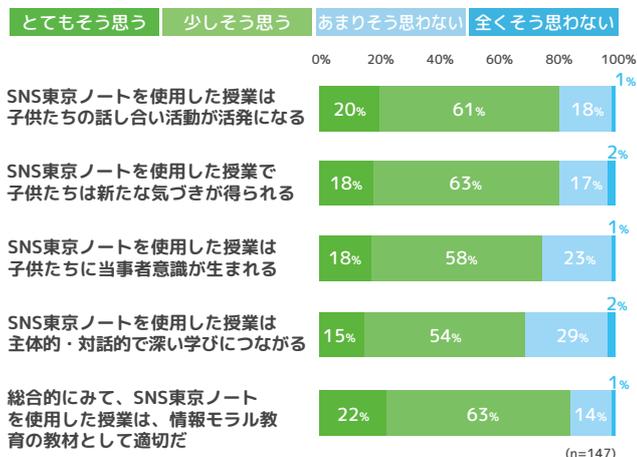
「東京ノート」活用調査結果

ここでは、平成29年に、東京都情報教育推進校等の教員と児童・生徒を対象に実施した「SNS東京ノート」効果測定及びネット利用実態把握調査で得られた知見の概要について述べます。

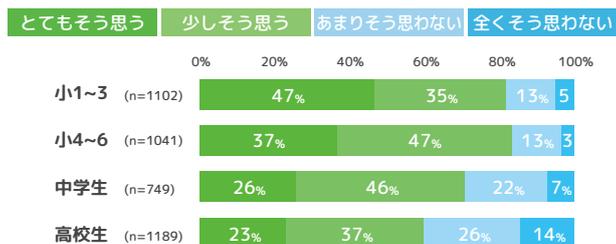
平成28年に配付したSNS東京ノートの効果の特徴として以下の3点が挙げられます。

- ① SNS東京ノートについて、85%の教員が「情報モラル教育の教材として適切である」と評価し、74%の教員が「授業で使いやすい教材である」と評価している。
- ② SNS東京ノートを使用した授業について、小1~3の82%、小4~6の84%、中学生の72%、高校生の60%が、「参加しやすい」と評価し、小1~3の84%、小4~6の86%、中学生の80%、高校生の67%が、「分かりやすい」と評価している。
- ③ SNS東京ノートを使用した授業を受講した児童・生徒が増えるにつれて、ネットトラブルの経験率が低下している。

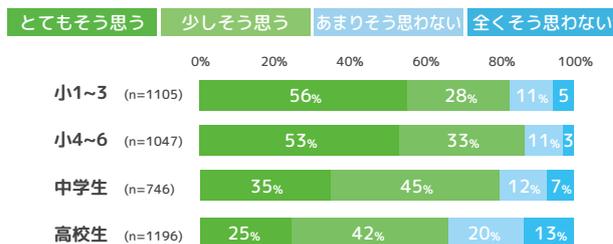
1. SNS東京ノートを使用した授業の評価



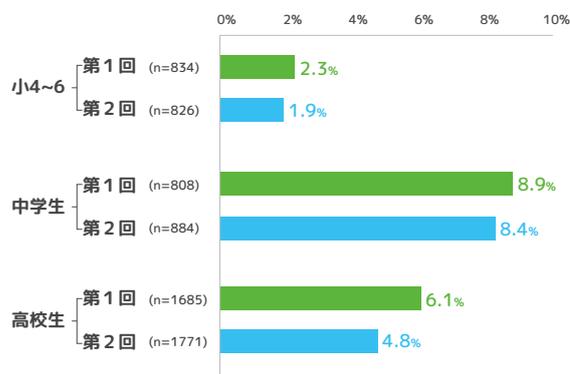
2-1. SNS東京ノートの授業では積極的に参加できたか



2-2. SNS東京ノートはわかりやすかったか



3. 今年の4月以降/夏休み以降、知り合いからネット上で嫌なことをされた割合



SNS東京ノートは、情報モラル教育の教材として、教員にとっても児童・生徒にとっても効果的な教材であると言えます。第1回調査（平成29年7月）に比べて、第2回調査（平成29年11月~12月）の方がネットトラブルの経験率が低下しています（小4~6では2.3%→1.9%、中学生では8.9%→8.4%、高校生では6.1%→4.8%）。依然としてトラブルには注意しなければならないものの、SNS東京ノートによる情報モラル授業を受講した児童・生徒が増えるにつれて、ネットトラブルの経験率が低下していることが示唆されたことは、本調査の大きな特徴です。

今後の課題としては、SNS東京ノートを活用した授業を実施する頻度を上げることです。今後、「学期に1回」を合い言葉として、体育館一斉型の「規制・制限し、怖がらせる情報モラル教育」から、教室での「考え、議論する情報モラル教育」への転換に期待したいです。

「SNS東京ノート」効果測定およびネット利用実態把握調査（2018年9月）

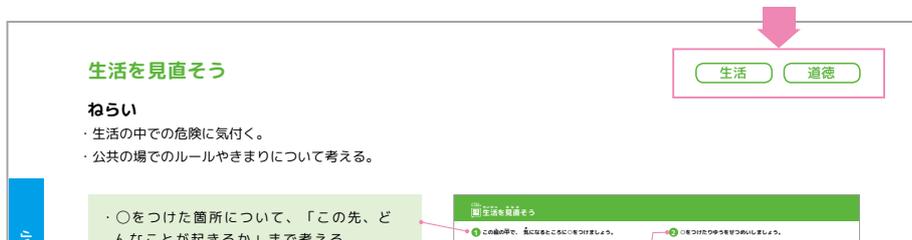
<https://linecorp.com/ja/csr/newslst/ja/2018/189>

よくある質問

Q. どの時間で実施すればよいですか？

生活、道徳、学級活動、総合的な学習（探究）の時間、高校の情報科などでの実施を推奨しています。学校の実情にあわせて、カリキュラム・マネジメントの視点での各教科等との連携を御検討ください。

また、本書中のそれぞれの解説ページの右上に実施を推奨する教科・単元を記載しておりますので御参照ください。



Q. どのくらいの回数を実施すればよいですか？

学期に1回程度の実施を推奨しています。ある学校では、7月（夏休み前）、9月（夏休み明け）、2月（振り返り）の計3回実施しています。子供たちの実情に合わせた実施をご検討ください。

Q. 短時間でも実施できますか？

朝の学級活動や15分程度のモジュール学習で活用している学校も多くあります。また、総合的な学習の時間では、インターネット上で外部の人と交流をしたり、情報を発信したりする場面が多くありますが、その際に「SNS東京ノート」から必要な部分を取り出して指導することも可能です。

Q. 家庭との連携はどのように行えばよいですか？

小学校向けには「家庭から」という欄があり、授業で児童が記入したノートを持ち帰らせ、連絡帳のように双方向にやり取りをすることによって、学校と家庭とが連携した取組になります。また、ある学校では、学校公開の機会を利用して、保護者参加型の授業に取り組んでいます。子供たちと一緒にカード教材を使った学習に保護者に参加してもらい、子供たちの意識の違いを認識したり、保護者の立場から子供たちへの思いを伝えたりするなどして、相互に学びを深め合う実践を行っています。



Q. 学校では、スマホ等の持ち込みを禁止しているのに、情報モラルを教えなくてもよいですか？

これからの情報社会を生きていく子供たちには、情報機器の使い方だけでなく、情報モラル（情報を適切に活用するための基になる考え方や態度）を確実に身に付けさせていく必要があります。たとえ学校がスマホ等の持ち込みを許可していなくても、家庭等では情報機器に触れる機会が多いため、発達の段階を踏まえた指導が必要です。

Q. 「SNS東京ノート」は情報モラル教材として有効ですか？

調査結果では、SNS東京ノートについて、85%の教員が「情報モラル教育の教材として適切である」と評価し、74%の教員が「授業で使いやすい教材である」と評価しています。また、SNS東京ノートを使用した授業については、小1-3の84%、小4-6の86%、中学生の80%、高校生の67%が、「分かりやすい」と評価しています。詳しくは、P3を御覧ください。

1 小学校低学年 モデル指導案

モデル指導案：使いすぎていないかな①

授業のねらい

- ・時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 導入 <ul style="list-style-type: none">・児童のゲームやネットの利用状況について確認する。	
15分	2. イラストから考えよう <ul style="list-style-type: none">・イラストを見ながら、状況について確認する。 ふきだしに入る言葉を入れましょう。・クラスで意見を共有する。 どこを直したらよいでしょうか。・クラスで意見を共有する。・「自分の使い方はどうかな」と自らの生活を振り返る。	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出す。
20分	3. カードで学ぼう <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 平日、ゲームやインターネットを何時間使っていたら「使いすぎ」だと思いますか。・カードの中から1枚を選んで、グループの全員が見えるように提示する。・グループ内で理由を説明する。 どんなことに気が付きましたか。・気付いたことを記入し、発表する。	○カード教材
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入する。・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらおう伝える。	○カードをしまう封筒等

ねらい

- ・生活の中での危険に気付く。
- ・公共の場でのルールやきまりについて考える。

・○をつけた箇所について、「この先、どんなことが起きるか」まで考える。

・歩きながらのスマホやゲームの使用だけでなく、公共の場でのルールやきまりにも目を向ける。

・「自分はどうだろうか」と、自分の行動に当てはめて振り返る。

・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。

使いすぎていないかな①

ねらい

- ・時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

P5のモデル指導案を参考にしてください。

・子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えた上で、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活に当てはめて振り返る。

・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思える時間を共有・比較することで、長い時間使用している子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければいけないこと（勉強や生活）に影響がでることに気付くようにする。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

高校

使いすぎていないかな②

生活

道徳

ねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

- ・子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えた上で、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活に当てはめて振り返る。

Lesson page 8: つかいすぎていないかな ②. ゆうたさんのおうちのようすです。 ① ふきだしに入ることばを入れましょう。 食事中はやめなさい。 いまずぐ返信しないで！

Lesson page 9: ① つかいすぎだと書こうカードをひとつえらんでみましょう。 ① かぞくとあそびに行く時にいつもスマホやゲーム機をもっていく。 ② おこづかいは、ほとんどゲームにつかっている。 ③ いつもネットやゲームのしぼりばかりする。 ② どんなことに気がつきましたか。 ④ 学校から

- ・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思える行動を共有・比較することで、子供が自ら「自分は使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

- ・ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければいけないこと（勉強や生活）に影響がでることに気付くようにする。

自分とあいてとのちがい

生活

道徳

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・自分の「いやな言葉」が、相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付く。

- ・ふきだしでは、たかしさんの怒った顔（3コマ目）、花子さんの不思議そうな顔（4コマ目）に注目しながら、理由を考える。

Lesson page 10: 自分とあいてとのちがい. 教室でのようすです。 ① ふきだしに入ることばを入れましょう。 掃除をするのは当たり前だろ。 ほめたつもりなのに。 ② なぜ、たかしさんはおこってしまったのでしょうか。 あなたの考えを書きましょう。

Lesson page 11: ① あなたが、クラスの友だちから言われて「あまりうれしくない」と感じることばをひとつえらんでみましょう。 ① まじめだね。 ② おとなしいね。 ③ かわいいね。 ② 人に言われて「うれしい」と感じることばには、どんなことばがあるでしょうか。

- ・カード教材を使って、自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで共有する。

- ・ありがとう、などの言葉を自分がうれしかった経験と結び付けて考えるようにする。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・顔が見えない場合は、もしかしたら、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。
- ・電話番号や名前などを教えず、「分からない」、「家族に相談する」などと断る方法を伝え、必ず家族に報告するよう伝える。

話すばんをしてた時のできごと

たかしさんが、家でひとりですばんをしていると、電話が鳴りました。

はい、もしもし。

たかしさんですか。わたしは同じ小学校の〇〇の友です。じつは、〇〇さんに会いたく思っています。電話番号を知らずからわかってきてしまいました。教えてもらえませんか。



こんな時、あなたならどうしますか。

1 電話番号を教える	2 わからないとつたえる	3 すぐにそうだんする
------------	--------------	-------------

ゲームの中の友だち

花子さんは、4人できょうりょくして、てきとたからゲームをそんでいます。

さいきん、「えりりん」さんというネットの友だちとじつじょにたたくことが多くなり、いつも「えりりん」さんにたずねてもらって、「えりりん」さんのことが気になりました。



「えりりん」さんは、どんな人だと思えますか。

1	2	3
---	---	---

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・顔が見えない場合は、もしかしたら、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。
- ・相手が自分が想像している人とは違う場合、どんな危険性があるかについても考える。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・「えりりん」さんは、どのような人だと思いか、考えさせる。

教えていいこと悪いこと

花子さんが、2人で協力するゲームをしていたときのことです。花子さんが、2人で協力するゲームをしていると、「あなたのことをもっと教えて」とメッセージがきました。実際に言ったことはないけれど、もっと話さなりたいと答っていたので、メッセージを送ることにしました。



あなたのこともっとおしえて!

こんな時、伝えてはいけないことはどれでしょうか。

1 自分の名前	2 自分の住所	3 好きな食べ物
---------	---------	----------

さらに、あなたのことを知りたいを言ってきました。こんな時、伝えてはいけないことはどれでしょうか。

1 家族の名前	2 通っている小学校	3 好きな動物
4 友だちの名前	5 家族の電話番号	6 好きな色

学んだこと

家族から

学校から

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・家族の名前や友だちの名前、通学している小学校や電話番号が知らないと分かると、どのような危険があるかを考えさせる。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・先に決めた約束を守ることにについて、考える。
- ・「断るとき」には、どのような言い方をするのがよいかについて考える。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・友達とけんかになってしまった経験を話し合う。
- ・自分だけで解決ができない場合があることについて考え、その場合は大人に相談することの重要性について気付くようにする。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・絵をまねた場合、まねされた人（花子さん）がどのような気持ちになるかについて考える。
- ・勝手に人の作品をまねしてはいけないことについて、そうした決まり（法律等）があることに気付くようにする。

おうちの人のやくそく

花子さんは、5時までには家に帰るやくそくをしていました。友だちの家でゲームをしていたら、帰る時間になってしまいました。友だちからは「もう少しだけゲームしようよ」ときそわれました。

今日は5時まで帰ってきてね

もう少しだけゲームしようよ

どうしよう

こんな時、あなたならどう答えますか。

① うん いいよ	② 今日はむり	③ おうちの人の約束したから今日は帰るよ
----------	---------	----------------------

この時、友だちとけんかになってしまいました。あなたならどうしますか。

① だれにもそうだんしない	② べつ友だちにそうだんする
③ 先生にそうだんする	④ 家ぞくにそうだんする

① ② ③ ④

① ② ③ ④

① ② ③ ④

友だちのまね

たかしさんは假工の時間に絵をかいていました。クラスメイトの花子さんの絵がうまかったので、たかしさんもそれをまねしてみた。おんなからほめられました。

うまいなあ

たかしさんが、花子さんの絵をまねすることは、よいことなのでしょうか。

① まねをしてもよい	② ちょっと変えればまねをしてもよい	③ まねをしてはいけない
------------	--------------------	--------------

保護者のみなさまへ

家庭のルールについては、子供と保護者が話し合うだけでなく、保護者同士で家庭のルールを共有しておくことも重要なポイントです。例えば、保護者会等では、次のように活用することができます。

- ・それぞれのトラブルの事例について簡単に紹介する。
- ・学校（クラス）の実情を踏まえて、紹介することが望ましい。
- ・子供に起きやすいトラブルについて（子供と一緒に）グループ等で検討する。
- ・保護者がどのような不安を抱えているかについて、保護者同士で共有する。
- ・トラブルについて、①家庭でのルールづくり、②フィルタリングやアプリの設定、③ネットの特性の3つの視点から、どのように対応すればよいか、各ページを参照しながら考えてもらう。

ゲータイ・スマホトラブル分類表

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額課金	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
5 著作権の侵害	6 不適切情報の発信	7 個人情報情報の投稿	8 悪口・いじり

① 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けながら話し合ってみよう。

② トラブルに巻き込まれないための対策を考えてみましょう。大きく3つの対策が重要です。

家庭のルールを考えよう	P18へ
フィルタリングやアプリの設定	P20へ
インターネットにおけるコミュニケーションの特性	P21へ

・「使いすぎ」、「夜遅い時間」、「たくさんのお金」というのは、人によって感覚がずれやすい表現であることを伝える。

・例えば、「スマホは夜10時まででしょ、取り上げるよ」と言うよりも、「どうしたら夜10時までというルールを守ることができるかな」と言う方が、子供たちの主体性・自律を育むことができることを伝える。

・保護者がずっと「制限」できる状況であり続けることは難しく、いかに子供の主体性・自律を育むことができるかを考えてもらう。

P21下図

LINE株式会社「青少年のネット利用実態把握を目的とした調査」調査概要(2018年)

・インターネットの使いすぎについては、「自分は使いすぎている」との自覚を促すことが、行動改善のためのポイントであることを伝え、自覚を促す方法を考えてもらう。

P22下図(トランスセオレティカルモデル)

Prochaska JO, DiClemente CC, Norcross JC (1992) In search of how people change, app.lications to addictive behavior, American Psychologist 47, pp.1102-1114

酒井郷平・塩田真吾(2018)「行動改善を目指した情報モラル教育—ネット依存傾向の予防・改善—」静岡学術出版, pp.32-35

・この調査については、あくまで参考として捉えるように伝え、チェックが多かったからといって、一概に「ネット依存」と断定することは難しいことを伝える。

P23チェックリスト(「DQ」調査)

「Diagnostic Questionnaire (Young, 1998)」の久里浜医療センターによる翻訳版を改編

・フィルタリングについては、設定の有無を学級で共有し、設定方法などは機種によって異なる場合もあるので、販売店等での相談をすすめる。

・コミュニケーションに関するトラブルについては、「ルール」や「フィルタリング」だけでは防ぐことが難しいので、3つの視点でのトレーニングの必要性を伝える。

・3つの視点では、イヤな言葉などの「①感覚のズレ」や、感情が伝わりにくいなどの「②ネットの特性」、そしてどのくらいの危険があるのかという「③リスクの見積り」を意識しながら、家庭でもトレーニングを行って欲しいと伝える。

2 小学校中学年 モデル指導案

モデル指導案：使いすぎていないかな②

授業のねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールについて考える。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
10分	1. イラストから学ぼう <ul style="list-style-type: none">・イラストを見ながら、状況について確認する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">あなたがたかしさんならどうしますか。</div> <ul style="list-style-type: none">・クラスで意見を共有する。・自分のこれまでの経験を踏まえ、どんなトラブルが生じる可能性があるか、どのような行動が適切かを話し合う。	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出す。
20分	2. カードで学ぼう <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">「この人、ネットやゲームを使いすぎだなあ」と思う順にカードを並べてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・5枚のカードを、使いすぎだと思順に並べ、グループの全員が見えるように提示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">一番使いすぎだと感じるカードを選んだ理由、一番使いすぎではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明する。・クラスで意見を共有し、理由を発表する。	○カード教材
10分	3. 使いすぎないためには <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">ネットやゲームを使いすぎないためには、どんなルールがあるとよいでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none">・家庭でどんなルールがあるとよいかを考え、発表する。	
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入する。・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらおう伝える。	○カードをしまう封筒等

使いすぎていないかな①

学活

総合

ねらい

- ・時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・使いすぎにより、生活にどんな影響がでるかを考える。

・時間が遅いだけでなく、宿題を終わらせていない、洋服が脱いだまま、など生活への影響に気付くようにする。

・グループやクラスで「使いすぎ」だと思ふ時間を共有・比較することで、自分の生活を見直し、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・児童の様子に応じて、カード枚数等は調整する。

・ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければいけないこと（勉強や生活）に影響がでることに気付くように促し、自分の生活を振り返る。

📄 使いすぎていないかな ①

たかしの家の様子です。

① 気になる所に○を付けましょう。



② ○を付けた理由を説明しましょう。

📄 使いすぎていないかな ②

① 平日、ネットやゲームを何時間使っていたら『使いすぎ』だと思いますか。一つ選んでみましょう。

1 30分	2 1時間	3 2時間	4 3時間	5 4時間
----------	----------	----------	----------	----------

② どんなことに気が付きましたか。

① 使いすぎのえいぎょう

ネットやゲームを使いすぎて、生活にえいぎょうは出ていませんか。自分の生活とくらべて、当てはまる分だけ星をめぐりましょう。

自分の時間がとれない
宿題がとれない
遅くまで寝ていない

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆



② 学んだこと

③ 家庭から

④ 学校から

・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらおうよう伝える。

使いすぎていないかな②

学活

総合

ねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールを考える。

・友達から「もうちょっと遊ぼう」と呼び止められた場面を扱いながら、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活を振り返る。

・適切な行動について考える。

・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思ふ行動を共有・比較することで、自らの行動に当てはめて、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・発達段階によっては並べるのではなく、2枚のみ選んで話し合いを行う。

📄 使いすぎていないかな ②

たかしの友達の家の様子です。

① あなたがたかさんならどうしますか。



家に帰る時間が決まっていることを友達に説明する。

📄 使いすぎていないかな ③

① 「この人、ネットやゲームを使いすぎだなあ」と思う順にカードをならべてみましょう。

1 家に帰る時間が決まっている人	2 家に帰る時間が決まらずに遊んでいる人	3 友達に説明している人	4 友達に説明していない人	5 友達に説明している人
---------------------	-------------------------	-----------------	------------------	-----------------

② 一番使いすぎだと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

③ 一番使いすぎではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

① 使いすぎないためには

① ネットやゲームを使いすぎないためには、どんなルールがあると思いますか。

② ルールが守れない時は、どんな時があるでしょうか。

③ 学んだこと

④ 家庭から

⑤ 学校から

・使いすぎないための家庭でのルールづくりや、「守れないときにはどうしたらよいか」を考えた上で、家庭で保護者と一緒に試し、感想を書いてもらう。



P11のモデル
指導案を参考に
してください。

自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

ねらい

- ・ 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・ 文字だけで伝えると、感情が伝わりにくいので、誤解されやすいことに気付く。

・ ふきだしでは、たかしさんの怒った顔（3コマ目）、花子さんの不思議そうな顔（4コマ目）に注目しながら、理由を考える。

自分と相手とのちがい

教室での様子です。

1 ふきだしに入る言葉を入れ、感じたことを話し合います。

削除するのは当たり前だよ

ほめたつもりなのに

ネットのとくせい

文字だけで伝えると、その時の「感情」が伝わらないので、相手をきずつけてしまうこともあります。

自分と相手とのちがい

1 あなたが、クラスの友達から言われて「あまりうれしくない」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

2 友達の選んだカードと見くらべて、どんなことに気がきましたか。

ネットのとくせい

文字だけで伝えると、その時の「感情」が伝わらないので、相手をきずつけてしまうこともあります。

・ 自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くように促し、グループやクラスで「あまりうれしくない言葉」を共有する。

・ 「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演することで、私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

これって悪口

学活

総合

道徳

ねらい

- ・ 相手の顔が見えないと、同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く。

・ 「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合、感情が伝わりにくいことに気付くようにする。

これって悪口

1 たかしさんは ①② のどちらの気持ちでメッセージを送ったでしょう。

2 友達の選んだカードと見くらべて、どんなことに気がきましたか。

相手の顔が見えないと

同じスタンプや絵文字でも、人によって感じ方が違うこともあります。また、相手の顔が見えないと、ついつい、ふだんは言わないような言葉を使ってしまうことがあります。

これって悪口

1 友達から友達のメッセージがどきました。受け取った時の気持ちをそれぞれ ①② に付けて、下のスペースにおきましょう。

2 友達の選んだカードと見くらべて、どんなことに気がきましたか。

相手の顔が見えないと

同じスタンプや絵文字でも、人によって感じ方が違うこともあります。また、相手の顔が見えないと、ついつい、ふだんは言わないような言葉を使ってしまうことがあります。

・ カードをA、Bに置いて共有する。

・ それぞれのカードをA又はBに置いた理由を話し合う。

・ 同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く、もし、自分が「すごくおもしろかった気持ち」を伝えようとして送ったスタンプが、相手に「いじわるな気持ち」として伝わってしまった場合、どのようなことが起きるかを考える。

・ P10での話し合いを振り返った上で、もし、相手にスタンプを送るときや相手からスタンプが送られてきたとき、どのようなことに気を付ければよいかを考える。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・あやしいメッセージが表示された場合には、クリックしたりせずに、家族などの大人に相談するようにする。また、パソコンの電源を切ったつもりでも、スリープ状態となり表示が継続される可能性があるため、注意する。
- ・もしクリックしてしまい、電話をかけるように指示されたり、お金を払うように指示されたりしたとしても、決して電話をせず、お金も払ってはいけないことを伝える。

「ウイルスにかんせんしました」と表示が出たら

あなたは、無料でお金を稼ぐゲームをさがしています。
最近、友達あかねさんから、無料でお金を稼ぐゲームがあることを教えてもらったので、自宅のパソコンをこっそり使ってみることにしました。すると、急に「ウイルスにかんせんしました」という表示が出てきました。



この時、あなたはどのようにしますか。

① すぐにクリックする

② 大人に相談する

③ パソコンの電源を切る

こうした表示がでないようにするためには、どんなことに気をつけなければよいでしょうか。

悪口を書かれたら

たかしさんは、遠くはなれた友達4人で、ときどき競うゲームをしていました。ある日、たかしさんが死んだために、一緒にゲームをしていた友達から、メッセージで悪口を書かれてしまいました。



この時、あなたはどのようにしますか。

① すぐに自分も悪口で言い返す

② 返信をせずにゲームを続ける

③ 家族に相談する

④ その他

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する(話し合いを行う。)
- ・こうした経験があるかどうか、子供たちに経験を共有させる。
- ・悪口を言われた場合でも、言い返すと悪口が継続してしまうこと、ゲームでは夢中になり、こうした悪口を言いやすくなることを伝える。
- ・「死ぬ」「殺す」など、脅された場合は、すぐに家族に相談するように伝える。

- ・顔が見えない場合は、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。
- ・相手が自分が想像している人とは違う場合、どんな危険性があるかについて考える。

ゲーム中の友達

花子さんは、4人で協力して、ときどき競うゲームで遊んでいます。
最近、「えりりん」というネットの友達といっしょに競うことが多くなり、いつも「えりりん」さんに教えてもらうので、「えりりん」さんのことが気になりました。



「えりりん」さんは、どんな人だと思いますか？

①

②

③

写真を送ってと言われたら

あかねさんは、ゲームで知り合った「しおり」と、顔にないしよでメッセージのやりとりをしています。
ある日、「しおり」さんから、「あかねさん、あなたの顔が見えなくなっちゃったから、わたしの写真を送るよ。」というメッセージをいっしょに、「しおり」さんの写真が送られてきました。「しおり」さんは、手配りのさわやかなお姉さんでした。その後、「しおり」さんから、「あかねさんの顔も顔も見えない。写真を送って。」と言われました。



この時、あなたはどのようにしますか。

① 写真を送る

② 写真を送らない

③ 大人に相談する

- ・ストーリーのように「写真を送って」と言われた時、心の中でどのような迷いが生じるか考える(「嫌われたくない」という気持ちから送ってしまう人がいることに留意する。)
- ・自分の写真を送ってしまった場合、どんな危険性があるかについて考える。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

高校

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・ゲームに、お金を使った（課金）経験について話し合う。
- ・お金を使うこと（課金）による影響やトラブルについて考える。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・ゲームに、時間を使いすぎた経験を振り返り、話し合う。
- ・たくさんの時間を使うことによる影響やトラブルについて考える。

ゲームって楽しいけれど

なつみさんは、家でスマホのゲームをしています。

なつみさんはスマホでゲームをすることが大好きです。このゲームでは毎日新しいイベントが始まり、新しいキャラクターが追加されています。なつみさんは新しいキャラクターを集めるために、お金をはらいたくありません。

① あなたがなつみさんなら、どうしますか。

① お金をはらう

② お金をはらわない

③ お金をはらってよいか 家族に相談する

② なぜそれを選んだのか、理由を書きましょう。

ふゆきさんも、家でスマホのゲームをしています。

ふゆきさんもスマホでゲームをすることが大好きです。このゲームではステージをクリアするための特別アイテムが登場しています。しかし、特別アイテムは稀なもので、ふゆきさんは時間をかけてゲームをクリアすることにしました。

① あなたがふゆきさんなら、どうしますか。

① 時間をかけて、次のステージを目指す

② アイテムを買って時間をかけて次のステージを目指す

③ アイテムを買ってよいか 家族に相談する

② なぜそれを選んだのか、理由を書きましょう。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・貸し借りに関するトラブルの経験について話し合う。
- ・自分で解決ができない場合があることについて考え、その場合は大人に相談することが重要であることに気付くようにする。

ゲームソフトのかしかり

ある日、たかしさんは、すぐるさんにゲームソフトをかしてあげました。

数日後、たかしさんはゲームソフトを返してほしいと言いましたが、すぐるさんから「もう少しかしてほしい」と言われてしまいました。何度もお願いしても、返してくれる様子はなく、たかしさんはこまごましていました。

たかしさんは、このあとどうしたらよいでしょうか。

① すぐるさんに「返してほしい」と何度も言う

② 別の友達に相談する

③ 家族に相談する

④ 先生に相談する

⑤ もう少し待つ

保護者のみなさまへ

P9を参照してください。

ケータイ・スマホトラブル分類表

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額課金	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
5 著作権の侵害	6 不適切情報の発信	7 個人情報情報の投稿	8 悪口・いじり

① 子供と一緒に、起きやすいと思われるトラブルにチェックを付けながら話し合ってみよう。

② トラブルに巻き込まれないための対策を調べてみましょう。大きく3つの対策が重要です。

- 適切なルールを考えよう ----- P18へ
- フィルタリングやアプリの設定 ----- P20へ
- インターネットにおけるコミュニケーションの特性 ----- P21へ

3 小学校高学年 モデル指導案

モデル指導案：自分と相手とのちがい

授業のねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
20分	1. カードで学ぼう① <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・カードの中から1枚を選んで、グループの全員が見えるように提示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">いやだなと感じた理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">ほかの人の意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。</div> <ul style="list-style-type: none">・クラスで共有し、気が付いたことを発表する。・ネットの特性を読み上げ、「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて考えを書き、説明する。	○カード教材
20分	2. カードで学ぼう② <ul style="list-style-type: none">・カードを裏返すように指示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・5枚のカードを、「いやだな」と感じる順に並べ、グループの全員が見えるように提示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">一番いやだと感じるカードを選んだ理由、一番いやではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明する。・クラスで共有し、理由を発表する。	○カード教材
5分	3. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入する。・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。・家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。	○カードをしまう封筒等

自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。



P16のモデル
指導案を参考にし
てください。

- ・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有する。

- ・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにする。

- ・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演し、考える。
- ・私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

- ・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。

使いすぎていないかな

学活

総合

ねらい

- ・時間や行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールを考える。

- ・グループやクラスで「使いすぎ」だと思ふ時間や「使いすぎ」だと思ふ行動を共有し、比較することで、自分の生活を見直し、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

- ・「使いすぎ」だと思ふ時間や行動が違う場合、相手に迷惑を掛ける可能性があることについて考える。
- ・これらの行為を「相手にされた場合」「自分がしてしまった場合」のそれぞれについて考える。

- ・使いすぎないための家庭でのルールづくりや、それを1週間試した上で、「守れるルール」や「守れないときにはどうしたらよいか」を考える。

ねらい

- ・同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く。
- ・メッセージを送る前に気を付けることについて考える。

・「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合、感情が伝わりにくいことや、その理由がどこにあるか考える。

・A、B、Cにカードを分類し、比べることで、自分と相手の違いを確認する。

・同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く、もし、自分が「すごくおもしろかった気持ち」を伝えようとして送ったスタンプが、相手に「いじわるな気持ち」として伝わってしまった場合、どのようなことが起きるかを考える。

・P8の話を振り返った上で、もし、相手にスタンプを送るときや相手からスタンプが送られてきたとき、どのようなことに気を付ければよいかを考える。

写真を公開する前に

P21のモデル指導案(中学校向け)も参考にしてください。

ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っていても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

・自分が「公開してもよいと思う写真」でも、公開することによって誰かを傷つけたり、トラブルに巻き込んだりしてしまう可能性について考える。

・それぞれの写真のどこに問題があると考えたかを共有し、発表する。

・「ネットの特性」を読み、一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいことについて理解を促す。その上で、自分が発信する際に気を付けることを考える。

・公開する前に、「どんな人が見るだろうか」を意識するように指導する。

- ・ ネットやゲームを「使いすぎ」てしまう経験を共有させる。
- ・ 一週間の時間の使い方について記録させ、友達や家族と共有させる。
- ・ 一週間のネットやゲームに費やした時間を計算させ、もしその時間を他のことに使うとしたら、何に使えらるかを考えさせる。

- ・ 一週間の記録を見直し、どうすれば改善できるかを考えさせ、もう一週間、記録を継続できるとよい。

- ・ ネットやゲームを「使いすぎ」てしまう経験を共有させる。
- ・ セルフチェックを実施し、自分が使いすぎてないかどうかを判断させる。ただし、チェックが多い児童・生徒が一概に「ネット依存」とは言えないことに留意する。

ストーリーから学ぼう

- ・ 動画サイトには見る人を夢中にさせるたくさんの工夫があることに気付くようにする。例えば、毎日新しい動画をアップロードしたり、子供に人気のあるゲームの実況を行ったり、有名人とコラボしたりなど、動画サイトの工夫によって、自分が「夢中にさせられている」ことに気付くようにする。また、こうした状況を改善するために、家庭ルールの見直しや動画を視聴する環境の見直しを行うことの重要性についても考えるようにする。

- ・ たった1枚の写真やメッセージでも、コンビニの場所（隣にある家の場所）、塾の帰りの時間などの情報を多くの人を知ることができることに気付くようにする。一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人を見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性について考えるようにする。

- ・アプリの中には、スマートフォン内の個人情報を盗むことを目的としたものもあるため、ダウンロードする前には必ず保護者に確認をとるように指導する。
- ・ダウンロードする場合には、販売元や説明内容、レビューの件数などを確かめるとともに、パソコンと同じようにスマートフォンにもウイルス対策ソフトをインストールしておくことの重要性についても考えるようにする。

アプリをダウンロードする時は

あきらさんは、テレビで見たゲームのアプリを、自分のスマホにダウンロードしたいと思いました。

「アプリを載せて。」

「あった。ダウンロードしてもいいかな。」

① アプリをダウンロードしたいと思ったら、どんなことに気を付ける必要があるでしょうか。

マンガをSNSにアップするとき

あきらさんは、毎週発売されるマンガ雑誌を楽しみにしていて、いつも購入しています。今発売されたマンガ雑誌には、お気に入りのマンガが載っていて、うれしくて、友達に知らせることにしました。

「おもしろ。早くおもしろかった。」

このマンガをスマホのアプリでSNSにアップしたところ、友達からたくさんコメントがきました。

② このメッセージと写真には、どんな問題があるでしょうか。

③ マンガ以外で、気を付けなければならないものは何があるでしょうか。

- ・マンガの一部をネット上に勝手にアップロードすることは、著作権の侵害に当たり、いわゆる違法アップロードとなる。違法アップロードは、「10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方」の罰則が科せられる可能性があることを説明する（音楽や映画なども同様）。さらに、こうした違法にアップロードされた音楽、映像をその事実を知りながらダウンロードすることも著作権の侵害に当たることについて考えるようにする。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・相手に面と向かって伝えるわけではないというネットの特性や、匿名だから分からないだろうという思いから、過激なことを書いてしまうことがあることについて考える。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・保護者や教員に相談することや直接本人に謝罪することだけでなく、SNSに謝罪を書き込むことのリスクについても気付くようにする。

匿名でつぶやいたら

あきらさんは学校のみんなには友達でSNSを使っています。「いいね」といわれる人にも返信されるのがうれしくて、友だちのことを面白おかしく書き込んでいました。

「たかあがまた、悪戯の物理理解なくて笑われた」「その日に学校であったことを書き込み、今日はとっても「いいね」をもらい、その後も何回か書き込みしていました。」

① なぜ、あきらさんは、クラスメイトのことを笑いなすような書き込みをしたのでしょうか。

---その日、書いて---

学校での悪戯に気づいたあきらさんは、家で自分の書き込み「いいね」を付けた人のプロフィールを閲覧しました。いろいろな人のプロフィールを閲覧したところ、やはりあきらさんの書き込みはみんなに読まれていたようでした。

これだけで自分の書き込みを知らずに誰かが読んだあきらさんは、自分のしたことを後悔しました。

② 他人が笑っていないだろうと思って書き込んだ内容が読まれたとき、あなたならどうしますか。

---昨日、学校にて---

学校ではみんなが話さず、あきらさんは誰にも話しかけられなくなってしまいました。あきらさんはみんなから仲間はずれにされてしまいました。あきらさん自身も落ち込んでくるようになってしまいました。

③ あなたがクラスメイトなら、仲間はずれにされているあきらさんに対してどのように振舞いますか。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・SNSでは、たとえ匿名で書き込んでいても、情報の蓄積やつながりから、個人が特定されてしまうこともあることについて気付くようにする。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・直接あきらさんに声をかけてあげる他にも、保護者や教員に相談することの重要性についても気付くようにする。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。

- ・クラス全員の意見を共有した上で、相手のことを考えながら上手に自分の意見を言うためにはどうすればよいかを考える。
- ・文字だけでなく、スタンプなどの上手な活用の仕方についても考える。

役おそくまでのグループトーク

これは、クラスの友達4人のグループトークです。

あな方は、そろそろお休みの時間なので、グループトークを終わりにしたいと考えていますが、なかなか終わらせられません。

① こんな朝、あなたは、どのように返信しますか。

② クラスメイトの意見を聞いて、「上手だな」と思う返信や対応を書いてみましょう。

③ 「楽しいコミュニケーション」をしてくれるために、これから気をつけることはどんなことでしょうか。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・自分が情報を送るときだけでなく、受けるときについても、どのようなことに気をつければよいかを考える。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

高校

4 中学校 モデル指導演

モデル指導演：写真を公開する前に

授業のねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っけていても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・写真の公開におけるネットの特性に付き、さらに、写真を公開してほしくない場合の対応方法についても考えを深める。

授業の流れ (50分)

時間	学習活動	準備物等
15分	1. カードで学ぼう① <ul style="list-style-type: none"> ・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>あなたは、どの写真をネットに公開しますか。 公開しても問題が無いと思う順に上から並べてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・5枚のカードを、「問題が無い」と思う順に並べ、グループの全員が見えるように提示する。 ・グループで理由を説明する。その際、写真のどこに注目したかを共有する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>どんなことに気が付きましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで共有し、理由を発表する。 	○カード教材
15分	2. カードで学ぼう② <ul style="list-style-type: none"> ・カードを用意する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>あなたが、ネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真を選び、順に並べてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを並べて、グループの全員が見えるように提示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>ネットで公開するには、それぞれどんなことに気を付ければよいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで注意点を説明する。 ・クラスで共有し、発表する。 ・ネットの特性を読み、一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性を理解する。 	○カード教材
15分	3. こんな時どうする <ul style="list-style-type: none"> ・トークの内容を読み上げながら、状況について確認する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>あなたは、どのように対応しますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで対応方法を発表し、まとめる。 ・クラスで上手な対応方法をまとめる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>「楽しいコミュニケーション」をしていくために、これからどんなことを考えればよいでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで発表する。 	
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業で学んだことを記入する。 	

自分と相手との違い

学活

総合

道徳



P16のモデル
指導案(小学校高
学年向け)も参考
にしてください。

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらない場合があり、誤解されやすいことに気付く。

・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有する。

・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにする。

・「いやなことをしないようにしよう」という指導だけでは、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。

これって悪口

学活

総合

道徳

ねらい

- ・同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く。
- ・相手に勘違いされてしまった時の対応について考える。

・自分の選んだカードを相手に示して理由を説明する。

・「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合、感情が伝わりにくいことについて、気付いたことを書いて話し合う。

・A、B、Cにカードを分類し、比べることで自分と相手の違いを確認する。

・同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く、もし、自分が「すごくおもしろかった気持ち」を伝えようとして送ったスタンプが、相手に「いじわるな気持ち」として伝わってしまった場合、どのようなことが起きるかを考える。

・相手に勘違いされてしまった時の対応について考え、対応方法をクラスで共有する。

写真を公開する前に

学活

総合

道徳



P21のモデル
指導案を参考に
してください。

ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・写真の公開におけるネットの特性に気付き、さらに、写真を公開してほしくない場合の対応方法についても考えを深める。

- ・自分が「公開してもよいと思う写真」でも、公開することによって誰かを傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりしてしまう可能性があることについて考える。
- ・それぞれの写真のどこに問題があると考えたかを共有し、発表する。

- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人を見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性について考え、話し合う。

- ・写真を公開してほしくない場合の対応方法について考え、クラスで共有する。

生活を見直そう

学活

総合

- ・ネットやゲームを「使いすぎ」してしまう経験を共有させる。
- ・一週間の時間の使い方について記録させ、友達や家族と共有させる。
- ・一週間のネットやゲームに費やした時間を計算させ、もしその時間を他のことに使ったら、何に使えるかを考えさせる。

- ・一週間の記録を見直し、どうすれば改善できるかを考えさせ、もう一週間、記録を継続できるとよい。

- ・ネットやゲームを「使いすぎ」してしまう経験を共有させる。
- ・チェックリストを実施し、自分が使いすぎてないかどうかを判断させる。ただし、チェックが多い生徒が一概に「ネット依存」とは言えないことに留意する。(あくまで参考として扱う)

こんなつもりじゃなかったのに

学活

総合

道徳



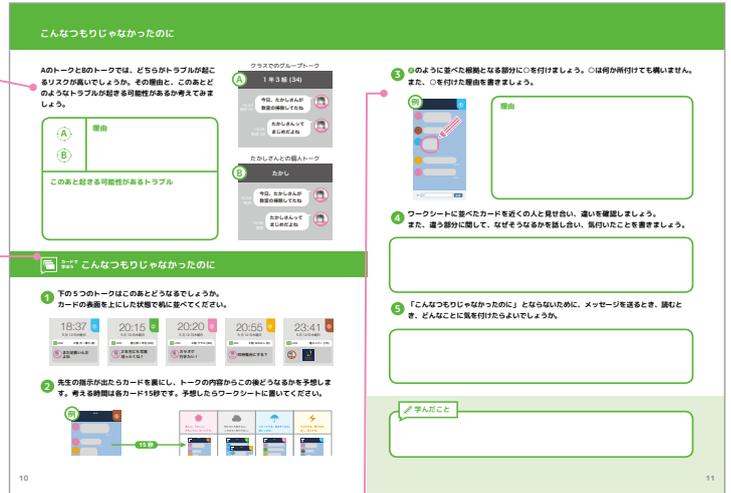
P27のモデル指導案(高校生向け)、P24の「教材利用方法」も参考にしてください。

ねらい

- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気づき、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを上手に相手に伝える方法について考える。

・ 同じトーク内容でも、1対1の場合と、1対34（クラスでのやり取り）の場合では、人数が多いほど、多様な捉え方をする人が増えるので、自分の意図とは違う捉え方をされる可能性が高まることに気付くようにする(グループメッセージでは「まじめ」という言葉が異なる意味で伝わるリスクが高くなっている。)

・ カードの裏面を見ないように机に並べ、グループ名（グループの人数）、グループトークでの最後のメッセージを読む。その上で、1枚ずつカードをめくり、15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想する。



・ 判断の根拠を共有することで、危険（リスク）を予想する際の判断の視点に気付くようにする。例えば、グループのサイズ（人数）、画面キャプチャ（画面全体を静止画で保存すること）での写真転送、送信時間、メッセージの内容など、判断の視点を説明する。

こんなつもりじゃなかったのに 教材利用方法



・ グループ名(グループの人数)

・ グループトークでの最後のメッセージ

・ 表面のまま机に並べる。

・ 予想の根拠に○を付ける。



「こんなつもりじゃなかったのに」状況シート

<p>楽しい、うれしい、おもしろい。ほっとする。</p>	<p>特になにも起きない。このままと変わらない。</p>	<p>いらっとする。気まずくなる。悲しくなる。</p>	<p>けんかする。怒り出す。泣く。炎上する。</p>
リスクはまったくない	リスクはほとんどない	少しリスクがある	大きなリスクがある

・ 裏面にしたら、15秒でこの先どうなるかを判断し、状況シート上に置く。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

高校

・顔が見えないSNSのやり取りでは、自分が想像している人とは違う場合があることに気づき、相手への振込（送金）や自分の名前や住所（個人情報）を伝える際の危険性について考える。

・自分のことを知ってほしい、アピールしたい、自分のことを認めてほしいといった自己顕示欲や承認欲求が高い人ほどSNS上でつながりを求めやすいことに気づくようにする。また、過度なSNSへの依存につながらないようにどうすればよいかについて、実生活の充実などの視点から考える。

・マンガの一部をネット上に勝手にアップロードすることは、著作権の侵害に当たり、いわゆる違法アップロードとなる。違法アップロードは、「10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方」の罰則が科せられる可能性があることを説明する（音楽や映画なども同様）。さらに、こうした違法にアップロードされたマンガや音楽、映画などをダウンロードすることも著作権の侵害に当たることを考える。

<p>SNSで売ったり買ったり</p> <p>あみさんは、あるアイドルグループが好き。保護者に許可をとって、ライブチケットの申込みをしたところ、残念ながら、他の生徒で同じ申込みをした人が多く、譲り受けられなかった。SNSで、そのライブチケットを安く買おうという人が見つかった。SNSで、そのチケットを安く買おうという人が見つかった。SNSで、そのチケットを安く買おうという人が見つかった。</p> <p>1 保護者が心配していることは何でしょうか。</p>	<p>SNSの友達が多い弱</p> <p>ゆうたさんが、友達のおかさんと繋がっている。おかさんが困ったように相談してきた。友達のおかさんが困ったように相談してきた。友達のおかさんが困ったように相談してきた。</p> <p>1 なぜ、私達は繋がったことのない人とSNSでやり取りをしたいと思うのでしょうか。SNSでのやり取りをしたいと思う、その理由を考えてみましょう。</p>
<p>マンガをSNSにアップすると</p> <p>ゆうたさんは、毎週発行されるマンガ雑誌を楽しみにして、いつも購入しています。今週発売されたマンガ雑誌には、お気に入りのマンガが載っていて、うれしくて、友達に譲り受けました。友達に譲り受けました。友達に譲り受けました。</p> <p>1 このメッセージと写真には、どんな問題があるでしょうか。</p> <p>2 マンガ以外で、気を行ってはいけないものには何があるでしょうか。</p>	<p>新しいアプリについて考えてみよう</p> <p>私は情報化社会の中で生きています。最近も、スマートフォンの位置情報を使った新しいゲームアプリが、社会現象になるまでに流行しました。もっと便利で面白いアプリや、新しい形の情報発信が生まれるかもしれません。</p> <p>1 今あるSNSのアプリの改善点を考えてみましょう。より便利に使うことができるようになるため、「このアプリを、こういうふうにして欲しい。」という改善点を考えてみましょう。</p> <p>2 自分が使っているアプリに、新しいアプリをインストールするときには、どのようなことに気をつける必要がありますか。</p>

・情報社会の一員として、サービスを受けるだけでなく、既存のサービスの改善点や新しいサービスを考えるなど情報社会に参画する態度を育成する。また、たとえ新しいデバイスやサービスが登場しても、アプリの中には、スマートフォン内の個人情報を盗むことを目的としたアプリなどが想定されるので、新しいアプリをダウンロードする前には必ず保護者に確認をとるように指導する。

保護者のみなさまへ

P9を参照してください。

ケータイ・スマホトラブル分類表

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用 ゲームや動画、SNSなど長時間利用による健康被害や、睡眠不足、集中力低下、学力低下など。	2 高額課金 子どもが勝手に課金して、高額な課金金が発生すること。	3 不適切サイトの閲覧 有害なサイトや画像、動画の閲覧による健康被害や、学力低下など。	4 出会い SNSなどで知り合った人と実際に会うことによる健康被害や、学力低下など。
5 著作権の侵害 著作権者の許可なく、他人の著作物を複製、転載、配布すること。	6 不適切情報の発信 虚偽や誹謗中傷の投稿、個人情報の漏洩など。	7 個人情報の取得 アプリやサービスを利用する際に、個人情報を取得すること。	8 悪口・いじり SNSなどで悪口やいじりを受けること。

① 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けて振り返り合ってみよう。

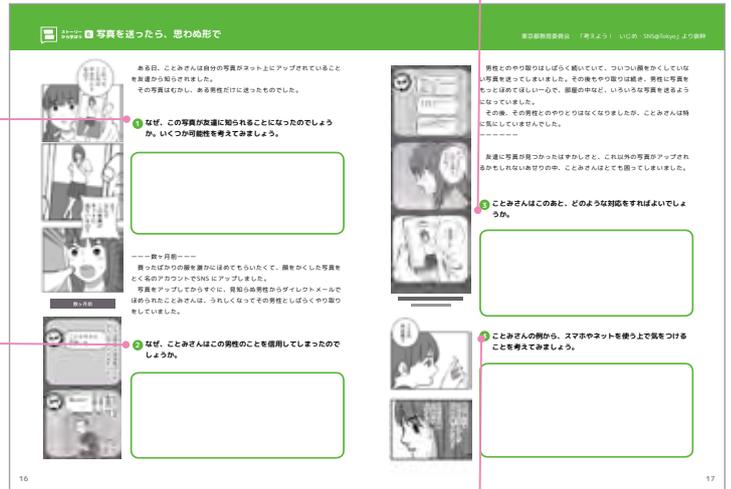
② トラブルに巻き込まれないための対策を考えてみましょう。大きく3つの対策が提案です。

家庭のルールを考えよう ----- P18へ
 フィルタリングやアプリの設定 ----- P20へ
 インターネットにおけるコミュニケーションの特性 ----- P21へ

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・ネット上に公開された写真は、簡単に複製（コピー）されてしまうことや、相手だけに写真を送ったつもりでも、相手が勝手に公開してしまう可能性があることなどに気付くようにする。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・トラブルが生じた際は、実際の画面のスクリーンショットをとり、保存する。その上で、保護者や教員に相談するとともに、サイト運営事業者に削除要請を行う。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・相手の写真が本人の写真ではない可能性もあることに気付くようにする。

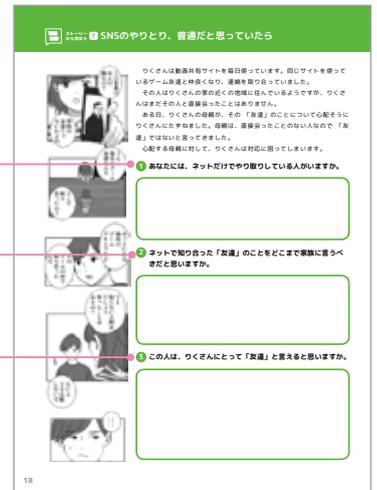


- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・自分の写真を送る際には、簡単に複製（コピー）され、公開されてしまう恐れがあることについて理解する。
- ・困った場合には、保護者や教員に相談することの必要性に気付くようにする。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・実際のクラスの友達について、どこまで家族に話しているかということと対比させながら考える。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・相手の写真が本人の写真ではない可能性もあることにも考慮しながら、「友達」と言えるかどうかについて考える。



小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

高校

5 高等学校 モデル指導案

モデル指導案：こんなつもりじゃなかったのに

授業のねらい

- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気づき、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを相手に伝える方法について考える。

授業の流れ (50分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 導入 <ul style="list-style-type: none">・トーク内容を読み上げながら、状況について確認する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">どちらがトラブルになるリスクが高いでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで発表し、クラスで共有する。・今日の授業では、「『こんなつもりじゃなかったのに』とならないために『リスクを見積る力』を身に付けること」を伝える。	
20分	2. カードで学ぼう <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材と状況シートを準備する。・5枚のカードを裏面を見ないように机に並べ、グループ名（グループの人数）、グループトークでの最後のメッセージを読むように指示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">このあと、どうなるでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none">・1枚ずつカードをめくり、各15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想して、状況シートの上に置く。・その際、自分だけではなく、グループ内の他者がどのように感じるかも考える。	<ul style="list-style-type: none">○カード教材○状況シート
20分	3. 判断の根拠を共有しよう <ul style="list-style-type: none">・判断の根拠になった部分を赤で囲む。・グループで判断した理由を発表し、気付いたことを記入する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">「こんなつもりじゃなかったのに」とならないためには、どうすればよいでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none">・メッセージを送る時、見る時、どんなことに気を付けたらよいかを考える。	<ul style="list-style-type: none">○カード教材○状況シート
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入する。	

自分と相手との違い

情報

LHR

道徳

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。



P16のモデル
指導案(小学校高
学年向け)も参考
にしてください。

- ・自分の「いやな言葉」や「いやなこと」が相手の「いやな言葉」や「いやなこと」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」や「いやなこと」を共有する。

- ・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の印象の違いについて、実演するとよい。

- ・「いやなことをしないようにしよう」という指導では、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。

写真を公開する前に

情報

LHR

ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・写真の公開におけるネットの特性に気付き、さらに写真を公開してほしくない場合の対応方法についても考える。



P21のモデル
指導案(中学校向
け)も参考にし
てください。

- ・自分が「公開してもよいと思う写真」でも、公開することによって誰かを傷つけたり、トラブルに巻き込んだりしてしまう可能性について考える。
- ・それぞれの写真のどこに問題があると考えたかを共有し、発表する。

- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性について考え、話し合う。

- ・写真を公開してほしくない場合の対応方法について考え、クラスで共有する。

こんなつもりじゃなかったのに

情報

LHR

道徳



P27のモデル指導案、P24の「教材利用方法」を参考にしてください。

ねらい

- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気づき、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを相手に伝える方法について考える。

・同じトーク内容でも、1対1の場合と、1対34（クラスでのやり取り）の場合では、人数が多いほど、多様な捉え方をする人が増えるので、自分の意図とは違う捉え方をされる可能性が高まることに気付くようにする（グループメッセージでは「まじめ」という言葉が異なる意味で伝わるリスクが高まっている。）。

・カードの裏面を見ないように机に並べ、グループ名（グループの人数）、グループトークでの最後のメッセージを読む。その上で、1枚ずつカードをめくり、15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想する。

この単元のゴールグループトーク

1 1年3組 (24)

4月 18日 (水)

4月 19日 (木)

4月 20日 (金)

4月 21日 (土)

4月 22日 (日)

4月 23日 (月)

4月 24日 (火)

4月 25日 (水)

4月 26日 (木)

4月 27日 (金)

4月 28日 (土)

4月 29日 (日)

4月 30日 (月)

5月 1日 (火)

5月 2日 (水)

5月 3日 (木)

5月 4日 (金)

5月 5日 (土)

5月 6日 (日)

5月 7日 (月)

5月 8日 (火)

5月 9日 (水)

5月 10日 (木)

5月 11日 (金)

5月 12日 (土)

5月 13日 (日)

5月 14日 (月)

5月 15日 (火)

5月 16日 (水)

5月 17日 (木)

5月 18日 (金)

5月 19日 (土)

5月 20日 (日)

5月 21日 (月)

5月 22日 (火)

5月 23日 (水)

5月 24日 (木)

5月 25日 (金)

5月 26日 (土)

5月 27日 (日)

5月 28日 (月)

5月 29日 (火)

5月 30日 (水)

5月 31日 (木)

6月 1日 (金)

6月 2日 (土)

6月 3日 (日)

6月 4日 (月)

6月 5日 (火)

6月 6日 (水)

6月 7日 (木)

6月 8日 (金)

6月 9日 (土)

6月 10日 (日)

6月 11日 (月)

6月 12日 (火)

6月 13日 (水)

6月 14日 (木)

6月 15日 (金)

6月 16日 (土)

6月 17日 (日)

6月 18日 (月)

6月 19日 (火)

6月 20日 (水)

6月 21日 (木)

6月 22日 (金)

6月 23日 (土)

6月 24日 (日)

6月 25日 (月)

6月 26日 (火)

6月 27日 (水)

6月 28日 (木)

6月 29日 (金)

6月 30日 (土)

6月 31日 (日)

7月 1日 (月)

7月 2日 (火)

7月 3日 (水)

7月 4日 (木)

7月 5日 (金)

7月 6日 (土)

7月 7日 (日)

7月 8日 (月)

7月 9日 (火)

7月 10日 (水)

7月 11日 (木)

7月 12日 (金)

7月 13日 (土)

7月 14日 (日)

7月 15日 (月)

7月 16日 (火)

7月 17日 (水)

7月 18日 (木)

7月 19日 (金)

7月 20日 (土)

7月 21日 (日)

7月 22日 (月)

7月 23日 (火)

7月 24日 (水)

7月 25日 (木)

7月 26日 (金)

7月 27日 (土)

7月 28日 (日)

7月 29日 (月)

7月 30日 (火)

7月 31日 (水)

8月 1日 (木)

8月 2日 (金)

8月 3日 (土)

8月 4日 (日)

8月 5日 (月)

8月 6日 (火)

8月 7日 (水)

8月 8日 (木)

8月 9日 (金)

8月 10日 (土)

8月 11日 (日)

8月 12日 (月)

8月 13日 (火)

8月 14日 (水)

8月 15日 (木)

8月 16日 (金)

8月 17日 (土)

8月 18日 (日)

8月 19日 (月)

8月 20日 (火)

8月 21日 (水)

8月 22日 (木)

8月 23日 (金)

8月 24日 (土)

8月 25日 (日)

8月 26日 (月)

8月 27日 (火)

8月 28日 (水)

8月 29日 (木)

8月 30日 (金)

8月 31日 (土)

9月 1日 (日)

9月 2日 (月)

9月 3日 (火)

9月 4日 (水)

9月 5日 (木)

9月 6日 (金)

9月 7日 (土)

9月 8日 (日)

9月 9日 (月)

9月 10日 (火)

9月 11日 (水)

9月 12日 (木)

9月 13日 (金)

9月 14日 (土)

9月 15日 (日)

9月 16日 (月)

9月 17日 (火)

9月 18日 (水)

9月 19日 (木)

9月 20日 (金)

9月 21日 (土)

9月 22日 (日)

9月 23日 (月)

9月 24日 (火)

9月 25日 (水)

9月 26日 (木)

9月 27日 (金)

9月 28日 (土)

9月 29日 (日)

9月 30日 (月)

9月 31日 (火)

10月 1日 (水)

10月 2日 (木)

10月 3日 (金)

10月 4日 (土)

10月 5日 (日)

10月 6日 (月)

10月 7日 (火)

10月 8日 (水)

10月 9日 (木)

10月 10日 (金)

10月 11日 (土)

10月 12日 (日)

10月 13日 (月)

10月 14日 (火)

10月 15日 (水)

10月 16日 (木)

10月 17日 (金)

10月 18日 (土)

10月 19日 (日)

10月 20日 (月)

10月 21日 (火)

10月 22日 (水)

10月 23日 (木)

10月 24日 (金)

10月 25日 (土)

10月 26日 (日)

10月 27日 (月)

10月 28日 (火)

10月 29日 (水)

10月 30日 (木)

10月 31日 (金)

11月 1日 (土)

11月 2日 (日)

11月 3日 (月)

11月 4日 (火)

11月 5日 (水)

11月 6日 (木)

11月 7日 (金)

11月 8日 (土)

11月 9日 (日)

11月 10日 (月)

11月 11日 (火)

11月 12日 (水)

11月 13日 (木)

11月 14日 (金)

11月 15日 (土)

11月 16日 (日)

11月 17日 (月)

11月 18日 (火)

11月 19日 (水)

11月 20日 (木)

11月 21日 (金)

11月 22日 (土)

11月 23日 (日)

11月 24日 (月)

11月 25日 (火)

11月 26日 (水)

11月 27日 (木)

11月 28日 (金)

11月 29日 (土)

11月 30日 (日)

11月 31日 (月)

12月 1日 (火)

12月 2日 (水)

12月 3日 (木)

12月 4日 (金)

12月 5日 (土)

12月 6日 (日)

12月 7日 (月)

12月 8日 (火)

12月 9日 (水)

12月 10日 (木)

12月 11日 (金)

12月 12日 (土)

12月 13日 (日)

12月 14日 (月)

12月 15日 (火)

12月 16日 (水)

12月 17日 (木)

12月 18日 (金)

12月 19日 (土)

12月 20日 (日)

12月 21日 (月)

12月 22日 (火)

12月 23日 (水)

12月 24日 (木)

12月 25日 (金)

12月 26日 (土)

12月 27日 (日)

12月 28日 (月)

12月 29日 (火)

12月 30日 (水)

12月 31日 (木)

1月 1日 (金)

1月 2日 (土)

1月 3日 (日)

1月 4日 (月)

1月 5日 (火)

1月 6日 (水)

1月 7日 (木)

1月 8日 (金)

1月 9日 (土)

1月 10日 (日)

1月 11日 (月)

1月 12日 (火)

1月 13日 (水)

1月 14日 (木)

1月 15日 (金)

1月 16日 (土)

1月 17日 (日)

1月 18日 (月)

1月 19日 (火)

1月 20日 (水)

1月 21日 (木)

1月 22日 (金)

1月 23日 (土)

1月 24日 (日)

1月 25日 (月)

1月 26日 (火)

1月 27日 (水)

1月 28日 (木)

1月 29日 (金)

1月 30日 (土)

1月 31日 (日)

2月 1日 (月)

2月 2日 (火)

2月 3日 (水)

2月 4日 (木)

2月 5日 (金)

2月 6日 (土)

2月 7日 (日)

2月 8日 (月)

2月 9日 (火)

2月 10日 (水)

2月 11日 (木)

2月 12日 (金)

2月 13日 (土)

2月 14日 (日)

2月 15日 (月)

2月 16日 (火)

2月 17日 (水)

2月 18日 (木)

2月 19日 (金)

2月 20日 (土)

2月 21日 (日)

2月 22日 (月)

2月 23日 (火)

2月 24日 (水)

2月 25日 (木)

2月 26日 (金)

2月 27日 (土)

2月 28日 (日)

2月 29日 (月)

2月 30日 (火)

3月 1日 (水)

3月 2日 (木)

3月 3日 (金)

3月 4日 (土)

3月 5日 (日)

3月 6日 (月)

3月 7日 (火)

3月 8日 (水)

3月 9日 (木)

3月 10日 (金)

3月 11日 (土)

3月 12日 (日)

3月 13日 (月)

3月 14日 (火)

3月 15日 (水)

3月 16日 (木)

3月 17日 (金)

3月 18日 (土)

3月 19日 (日)

3月 20日 (月)

3月 21日 (火)

3月 22日 (水)

3月 23日 (木)

3月 24日 (金)

3月 25日 (土)

3月 26日 (日)

3月 27日 (月)

3月 28日 (火)

3月 29日 (水)

3月 30日 (木)

3月 31日 (金)

4月 1日 (土)

4月 2日 (日)

4月 3日 (月)

4月 4日 (火)

4月 5日 (水)

4月 6日 (木)

4月 7日 (金)

4月 8日 (土)

4月 9日 (日)

4月 10日 (月)

4月 11日 (火)

4月 12日 (水)

4月 13日 (木)

4月 14日 (金)

4月 15日 (土)

4月 16日 (日)

4月 17日 (月)

4月 18日 (火)

4月 19日 (水)

4月 20日 (木)

4月 21日 (金)

4月 22日 (土)

4月 23日 (日)

4月 24日 (月)

4月 25日 (火)

4月 26日 (水)

4月 27日 (木)

4月 28日 (金)

4月 29日 (土)

4月 30日 (日)

4月 31日 (月)

5月 1日 (火)

5月 2日 (水)

5月 3日 (木)

5月 4日 (金)

5月 5日 (土)

5月 6日 (日)

5月 7日 (月)

5月 8日 (火)

5月 9日 (水)

5月 10日 (木)

5月 11日 (金)

5月 12日 (土)

5月 13日 (日)

5月 14日 (月)

5月 15日 (火)

5月 16日 (水)

5月 17日 (木)

5月 18日 (金)

5月 19日 (土)

5月 20日 (日)

5月 21日 (月)

5月 22日 (火)

5月 23日 (水)

5月 24日 (木)

5月 25日 (金)

5月 26日 (土)

5月 27日 (日)

5月 28日 (月)

5月 29日 (火)

5月 30日 (水)

5月 31日 (木)

6月 1日 (金)

6月 2日 (土)

6月 3日 (日)

6月 4日 (月)

6月 5日 (火)

6月 6日 (水)

6月 7日 (木)

6月 8日 (金)

6月 9日 (土)

6月 10日 (日)

6月 11日 (月)

6月 12日 (火)

6月 13日 (水)

6月 14日 (木)

6月 15日 (金)

6月 16日 (土)

6月 17日 (日)

6月 18日 (月)

6月 19日 (火)

6月 20日 (水)

6月 21日 (木)

6月 22日 (金)

6月 23日 (土)

6月 24日 (日)

6月 25日 (月)

6月 26日 (火)

6月 27日 (水)

6月 28日 (木)

6月 29日 (金)

6月 30日 (土)

6月 31日 (日)

7月 1日 (月)

7月 2日 (火)

7月 3日 (水)

7月 4日 (木)

7月 5日 (金)

7月 6日 (土)

7月 7日 (日)

7月 8日 (月)

7月 9日 (火)

7月 10日 (水)

7月 11日 (木)

7月 12日 (金)

7月 13日 (土)

7月 14日 (日)

7月 15日 (月)

7月 16日 (火)

7月 17日 (水)

7月 18日 (木)

7月 19日 (金)

7月 20日 (土)

7月 21日 (日)

7月 22日 (月)

7月 23日 (火)

7月 24日 (水)

7月 25日 (木)

7月 26日 (金)

7月 27日 (土)

7月 28日 (日)

7月 29日 (月)

7月 30日 (火)

7月 31日 (水)

8月 1日 (木)

8月 2日 (金)

8月 3日 (土)

8月 4日 (日)

8月 5日 (月)

8月 6日 (火)

8月 7日 (水)

8月 8日 (木)

8月 9日 (金)

8月 10日 (土)

8月 11日 (日)

8月 12日 (月)

8月 13日 (火)

8月 14日 (水)

8月 15日 (木)

8月 16日 (金)

8月 17日 (土)

8月 18日 (日)

8月 19日 (月)

8月 20日 (火)

8月 21日 (水)

8月 22日 (木)

8月 23日 (金)

8月 24日 (土)

8月 25日 (日)

8月 26日 (月)

8月 27日 (火)

8月 28日 (水)

8月 29日 (木)

8月 30日 (金)

8月 31日 (土)

9月 1日 (日)

9月 2日 (月)

9月 3日 (火)

9月 4日 (水)

9月 5日 (木)

9月 6日 (金)

9月 7日 (土)

9月 8日 (日)

9月 9日 (月)

9月 10日 (火)

9月 11日 (水)

9月 12日 (木)

9月 13日 (金)

9月 14日 (土)

9月 15日 (日)

9月 16日 (月)

9月 17日 (火)

9月 18日 (水)

9月 19日 (木)

9月 20日 (金)

9月 21日 (土)

9月 22日 (日)

9月 23日 (月)

9月 24日 (火)

9月 25日 (水)

9月 26日 (木)

9月 27日 (金)

9月 28日 (土)

9月 29日 (日)

9月 30日 (月)

9月 31日 (火)

10月 1日 (水)

10月 2日 (木)

10月 3日 (金)

10月 4日 (土)

10月 5日 (日)

10月 6日 (月)

10月 7日 (火)

10月 8日 (水)

10月 9日 (木)

10月 10日 (金)

10月 11日 (土)

10月 12日 (日)

10月 13日 (月)

10月 14日 (火)

10月 15日 (水)

10月 16日 (木)

10月 17日 (金)

10月 18日 (土)

10月 19日 (日)

10月 20日 (月)

10月 21日 (火)

10月 22日 (水)

10月 23日 (木)

10月 24日 (金)

10月 25日 (土)

10月 26日 (日)

10月 27日 (月)

10月 28日 (火)

10月 29日 (水)

10月 30日 (木)

10月 31日 (金)

11月 1日 (土)

11月 2日 (日)

11月 3日 (月)

11月 4日 (火)

11月 5日 (水)

11月 6日 (木)

11月 7日 (金)

11月 8日 (土)

11月 9日 (日)

11月 10日 (月)

11月 11日 (火)

11月 12日 (水)

11月 13日 (木)

11月 14日 (金)

11月 15日 (土)

11月 16日 (日)

11月 17日 (月)

11月 18日 (火)

11月 19日 (水)

11月 20日 (木)

11月 21日 (金)

11月 22日 (土)

11月 23日 (日)

11月 24日 (月)

11月 25日 (火)

11月 26日 (水)

11月 27日 (木)

11月 28日 (金)

11月 29日 (土)

11月 30日 (日)

11月 31日 (月)

12月 1日 (火)

12月 2日 (水)

12月 3日 (木)

12月 4日 (金)

12月 5日 (土)

12月 6日 (日)

12月 7日 (月)

12月 8日 (火)

12月 9日 (水)

12月 10日 (木)

12月 11日 (金)

12月 12日 (土)

12月 13日 (日)

12月 14日 (月)

12月 15日 (火)

12月 16日 (水)

12月 17日 (木)

12月 18日 (金)

12月 19日 (土)

12月 20日 (日)

12月 21日 (月)

12月 22日 (火)

12月 23日 (水)

12月 24日 (木)

12月 25日 (金)

12月 26日 (土)

12月 27日 (日)

12月 28日 (月)

12月 29日 (火)

12月 30日 (水)

12月 31日 (木)

1月 1日 (金)

1月 2日 (土)

1月 3日 (日)

1月 4日 (月)

1月 5日 (火)

1月 6日 (水)

1月 7日 (木)

1月 8日 (金)

1月 9日 (土)

1月 10日 (日)

1月 11日 (月)

1月 12日 (火)

1月 13日 (水)

1月 14日 (木)

1月 15日 (金)

1月 16日 (土)

1月 17日 (日)

1月 18日 (月)

1月 19日 (火)

1月 20日 (水)

1月 21日 (木)

1月 22日 (金)

1月 23日 (土)

1月 24日 (日)

1月 25日 (月)

1月 26日 (火)

1月 27日 (水)

1月 28日 (木)

1月 29日 (金)

1月 30日 (土)

1月 31日 (日)

2月 1日 (月)

2月 2日 (火)

2月 3日 (水)

2月 4日 (木)

2月 5日 (金)

2月 6日 (土)

2月 7日 (日)

2月 8日 (月)

2月 9日 (火)

2月 10日 (水)

2月 11日 (木)

2月 12日 (金)

2月 13日 (土)

2月 14日 (日)

2月 15日 (月)

2月 16日 (火)

2月 17日 (水)

2月 18日 (木)

2月 19日 (金)

2月 20日 (土)

2月 21日 (日)

2月 22日 (月)

2月 23日 (火)

2月 24日 (水)

2月 25日 (木)

2月 26日 (金)

2月 27日 (土)

2月 28日 (日)

2月 29日 (月)

2月 30日 (火)

3月 1日 (水)

3月 2日 (木)

3月 3日 (金)

3月 4日 (土)

3月 5日 (日)

3月 6日 (月)

3月 7日 (火)

3月 8日 (水)

3月 9日 (木)

3月 10日 (金)

3月 11日 (土)

3月 12日 (日)

3月 13日 (月)

3月 14日 (火)

3月 15日 (水)

3月 16日 (木)

3月 17日 (金)

3月 18日 (土)

3月 19日 (日)

3月 20日 (月)

3月 21日 (火)

3月 22日 (水)

3月 23日 (木)

3月 24日 (金)

3月 25日 (土)

3月 26日 (日)

3月 27日 (月)

3月 28日 (火)

3月 29日 (水)

3月 30日 (木)

3月 31日 (金)

4月 1日 (土)

4月 2日 (日)

4月 3日 (月)

4月 4日 (火)

4月 5日 (水)

4月 6日 (木)

4月 7日 (金)

4月 8日 (土)

4月 9日 (日)

4月 10日 (月)

4月 11日 (火)

4月 12日 (水)

4月 13日 (木)

4月 14日 (金)

4月 15日 (土)

4月 16日 (日)

4月 17日 (月)

4月 18日 (火)

4月 19日 (水)

4月 20日 (木)

4月 21日 (金)

4月 22日 (土)

4月 23日 (日)

4月 24日 (月)

4月 25日 (火)

4月 26日 (水)

4月 27日 (木)

4月 28日 (金)

4月 29日 (土)

4月 30日 (日)

4月 31日 (月)

5月 1日 (火)

5月 2日 (水)

5月 3日 (木)

5月 4日 (金)

5月 5日 (土)

5月 6日 (日)

5月 7日 (月)

5月 8日 (火)

5月 9日 (水)

5月 10日 (木)

5月 11日 (金)

5月 12日 (土)

5月 13日 (日)

5月 14日 (月)

5月 15日 (火)

5月 16日 (水)

5月 17日 (木)

5月 18日 (金)

5月 19日 (土)

5月 20日 (日)

5月 21日 (月)

5月 22日 (火)

5月 23日 (水)

5月 24日 (木)

5月 25日 (金)

5月 26日 (土)

5月 27日 (日)

5月 28日 (月)

5月 29日 (火)

5月 30日 (水)

5月 31日 (木)

6月 1日 (金)

6月 2日 (土)

6月 3日 (日)

6月 4日 (月)

6月 5日 (火)

6月 6日 (水)

6月 7日 (木)

6月 8日 (金)

6月 9日 (土)

6月 10日 (日)

6月 11日 (月)

6月 12日 (火)

6月 13日 (水)

6月 14日 (木)

6月 15日 (金)

6月 16日 (土)

6月 17日 (日)

6月 18日 (月)

6月 19日 (火)

6月 20日 (水)

6月 21日 (木)

6月 22日 (金)

6月 23日 (土)

6月 24日 (日)

6月 25日 (月)

6月 26日 (火)

6月 27日 (水)

6月 28日 (木)

6月 29日 (金)

6月 30日 (土)

6月 31日 (日)

7月 1日 (月)

7月 2日 (火)

7月 3日 (水)

7月 4日 (木)

7月 5日 (金)

7月 6日 (土)

7月 7日 (日)

7月 8日 (月)

7月 9日 (火)

7月 10日 (水)

7月 11日 (木)

7月 12日 (金)

7月 13日 (土)

7月 14日 (日)

7月 15日 (月)

7月 16日 (火)

7月 17日 (水)

7月 18日 (木)

7月 19日 (金)

7月 20日 (土)

7月 21日 (日)

7月 22日 (月)

7月 23日 (火)

7月 24日 (水)

7月 25日 (木)

小中学生へのアドバイスを考えよう

ねらい

- ・自分たちが学んだことを小中学生に伝える活動を通して、自分自身の行動を振り返り、理解を深める。
- ・「トラブルを伝える」だけでなく、「上手な活用」についてもアドバイスを考える。

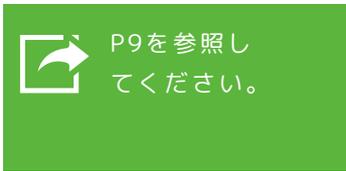
- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・やりすぎないためのルールづくりやそのルールの守り方の工夫などについて小中学生への適切なアドバイスを考える。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・スマホの必要性、トラブルのリスク、さらにはフィルタリングやルールづくりなどについて小中学生への適切なアドバイスを考える。

- ・意見を全体で共有する（話し合いを行う。）。
- ・動画サイトに動画を公開することの光と影について、トラブルのリスクだけに偏らないように小中学生への適切なアドバイスを考える。



保護者のみなさまへ



ネット上に不適切な情報が掲示されたら

子供自身が気を付けていたとしてもトラブルに巻き込まれることがあります。

子供や保護者から相談を受けた時に適切な対応方法を事前に知っておくことは有効です。ここではネット上に不適切な情報が掲示された場合を想定して対処方法を見ていきましょう。

典型事例

中学2年生のA君は、ネット上で自分が写っている写真が無断で加工された状態で公開されているのを発見しました。誰がネットに掲示したかは分かりません。困ったA君は母親に伝え、母親は驚いてすぐに学校に相談しました。

STEP1
対応方針決定

STEP2
手段検討

STEP3
削除要請

STEP1 対応方針決定

第1に、どのような対応をすべきかを決定する必要がありますが、インターネットの特性の一つとして、その拡散性の高さがあります。不適切な情報がネット上に拡散してしまうとそれをすべて消すことは困難となります。よって、まず対応すべきことは現在発生している被害の拡大を防ぐことです。そのためにはA君の写真をネット上から削除又は非公開にすることが有効です。

※P35「参考：対応フロー図」の対応フロー図の「①違法情報・権利侵害情報」のうち、「権利侵害情報」として対応を進めています。

削除依頼をする際の下準備

削除依頼をする際には主に以下の情報が必要になりますので、事前に準備し、保存しておくといでしょう。

- 載っている場所：WebならURL、アプリならどの画面か
- 載せられた日時：載せられた年月日時分秒
- 載っている内容：具体的に問題がある内容
 - ※載っている内容をキャプチャ画像等で保存してください。
- その掲載で誰が被害を受け、どう困っているのかの説明文章



自殺予告等の緊急時の対処法

自殺予告や自殺を呼びかける書き込みで、その内容から緊急度が高いと推察される情報が掲示されている場合は、一刻を争う対応（発生未然阻止）が必要です。その場合には警察に110番通報をしてください。

★1：P.35参照

<https://www.npa.go.jp/cybersafety/Homepage/homepage3.html>

必ずしも緊急の対応を要しない内容の書き込みを発見した場合には、最寄りの警察署又は都道府県警察サイバー犯罪相談窓口へ情報提供してください。

都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口等一覧 <https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

STEP2 手段検討

ネット上から削除又は非公開するための削除依頼の連絡先は下記が考えられます。

- A. ネットに掲載した本人
- B. ネットサービス事業者
- C. その他専門機関

「A. ネットに掲載した本人」に対し削除依頼する場合は、サービス内にメッセージ機能等があれば直接連絡して削除請求をすることが可能で、迅速な解決が見込める可能性があります。しかし、強制力はないため、掲載者本人の判断に委ねられますし、コミュニケーションがうまくいかず相手を刺激してしまい、トラブルが悪化してしまうことも考えられます。

今回の事例では掲載者本人の特定が難しい事案ですので、Aが選択しにくいいため、B,Cを検討することとなります。



メッセージングサービスでのやりとり

SNSサービスやブログサービスのように全世界への公開を前提とするサービスとは違い、LINE等特定の相手とのコミュニケーションを目的としたサービス内で不適切な画像等がやり取りされるケースもあります。

このケースでは、ネットサービス事業者が個々の通信内容にアクセスしてしまうと憲法上保障されている「通信の秘密」を侵害しうるため、ネットサービス事業者はアクセスできません。この場合は不適切な画像等を送受信している人に直接削除を求めることとなります。

STEP3 削除措置要請

「B. ネットサービス事業者」への削除措置の要請は、当該サービスに設置している「お問合せ窓口」から行います。ネットサービス事業者は、その内容を独自の利用規約や運用基準に照らし合わせ削除の要否を判断します。しかし、サービス方針によって対応が異なるため、要求どおりにならない可能性もあります。

著作権侵害や名誉毀損等の権利侵害事案に関しては、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置の手続きがガイドライン化されています。

プロバイダ責任制限法に関する解説、ガイドライン、書式等 <http://www.isplaw.jp/>

今回の事例のようにA君のプライバシー権等に関係する権利侵害の事案ですので、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置依頼を行うこともできます。

対応方法や連絡先が分からない場合は、下記の機関に相談してもよいでしょう。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

法務省インターネット人権相談受付窓口 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

「C. その他専門機関」に対して、専門機関からネットサービス事業者への削除措置の要請（以下「削除依頼」といいます）する場合は、専門機関が設置している通報フォームから行います。専門機関では、削除依頼が可能な情報の種類が細かく定められており、内容によっては対応できない場合もあります。削除依頼が可能な情報については、個人では手続きが難しい国外サイトへの削除依頼も対応してもらえることがあります。しかし、専門機関からの削除依頼を受けても削除に応じないネットサービス事業者も存在するため、専門機関が削除依頼をした全ての情報が削除されるわけではありません。

なお、警察ではネット上に書き込まれた情報の削除依頼等の対応はしていません。

以下は主な専門機関となります。

セーフライン <https://www.safe-line.jp/>

セーフラインでは、児童の裸の動画画像やいじめの動画画像など深刻な被害をもたらす情報について通報を受け付け、ガイドライン（削除依頼ができる情報の種類が定められているもの）に該当するものについて削除依頼を実施しています。



発信者への法的措置★2

発信者への対応の一つとして、法的措置を求めることが考えられます。法的措置には、刑事事件として警察が介入するケース（犯罪捜査）と民事事件として発信者に法的請求（損害賠償請求等）するケースがあります。

民事事件のケースでは、発信者を特定する必要がありますが、ネットサービス事業者が発信者情報の開示を請求する場合には、プロバイダ責任制限法に基づくガイドラインも存在します。

プロバイダ責任制限法発信者情報開示関係ガイドライン

https://www.telesa.or.jp/ftp-content/consortium/provider/pdf/provider_hguideline_20180208.pdf

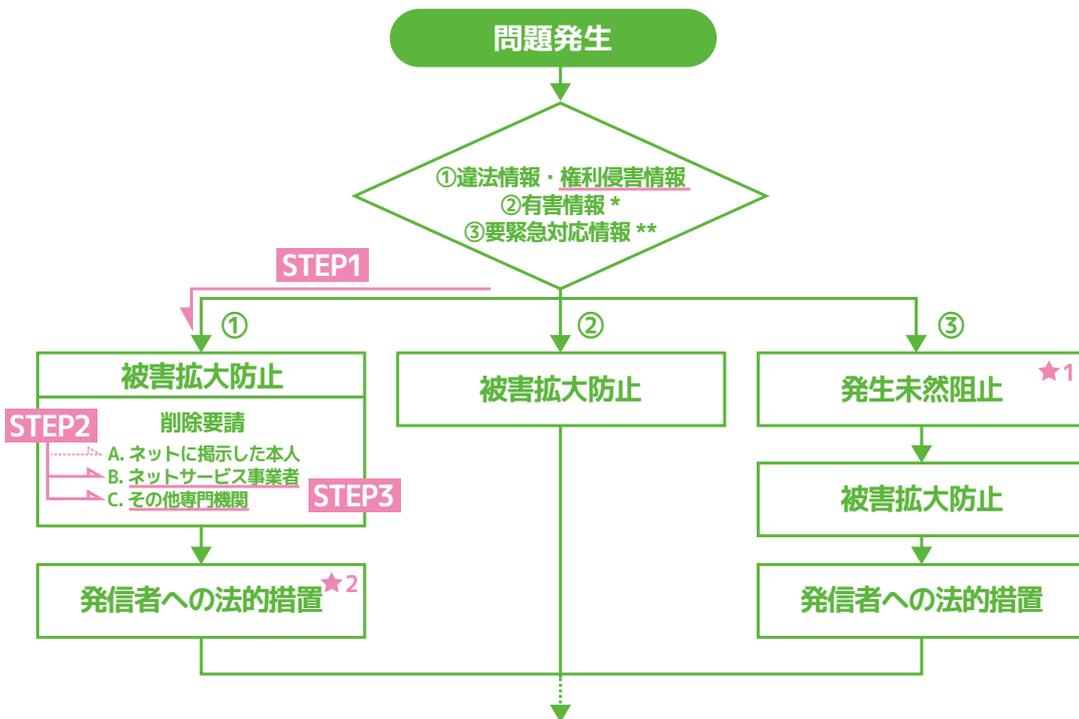
この開示請求は、第三者となる学校や教員からの申請が行えず、児童・生徒本人や保護者からの申請が必要になることや、ネットサービス事業者とインターネットサービスプロバイダの両方に照会する必要あるため、開示まで時間を要することがあります。開示条件等を理解した上で請求するかどうかを判断しましょう。

もし、対応方法や連絡先が分からない場合は、以下の機関に相談することができます。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

また、発信者情報の開示請求については専門的な知識が必要になるため、弁護士に相談することも検討しましょう。

参考：対応フロー図



*有害情報：遺体の画像等、法令には抵触しないが社会的通念上問題であると認識されうる情報

**要緊急対応情報：殺人・爆破・自殺予告等、発生未然防止のために対応に急を要する情報



活用の手引



SNS東京ノート活用の手引

東京都教育委員会印刷物登録

平成30年度第120号 平成31年3月

編集・発行 東京都教育庁指導部指導企画課

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-6848

印刷 株式会社〇〇

制作 東京都教育委員会

LINE株式会社

静岡大学教育学部准教授 塩田真吾

アラサキデザインスタジオ

協力 平成30年度SNS東京ノート活用推進委員会

- ・この教材は、東京都教育委員会とLINE株式会社が締結した協定「『SNS東京ルール』共同研究プロジェクト」の成果物です。
- ・本教材の著作権は、東京都教育委員会とLINE株式会社が共同で保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。